

開館日カレンダー 2021年10月～2022年3月までの予定

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6★				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11★
10	11	12	13	14	15	16	14★	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23★	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
31																				

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6★	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			

■ 休館日
 ■ 特別展「西澤笛畝一人形をひのき舞台へ」
 ■ 企画展「創作人形作家の雛とおもちゃ絵(仮)」
 ■ 展示室1・2(常設展)のみ開室
 ● 常設展展示解説 午後1時30分～ ※申込不要、要観覧券
 ★ ワークショップ開催日

これからの展覧会

特別展 西澤笛畝一人形をひのき舞台へ

2021年10月9日(土)～11月28日(日)

当館コレクションの礎を築いた西澤笛畝(1889-1965)は、日本画家、人形玩具研究家として活躍し、人形の文化芸術振興に寄りました。笛畝の絵画作品やコレクションを通じ、その人物像や仕事の軌跡を紹介します。



西澤笛畝 自宅兼研究所にて 昭和時代

企画展 創作人形作家の雛とおもちゃ絵

～人形の近代をめぐる～(仮)

2022年1月29日(土)～3月21日(月・祝)

本展では、近代に描かれたおもちゃ絵や、創作人形作家による雛人形等を中心に紹介します。特に、野口光彦による愛らしさあふれる稚児雛十五人揃は必見です。



稚児雛十五人揃 野口光彦作 昭和時代初期

【にぎわい交流館いわつき】

博物館に隣接する、にぎわい交流館いわつきでは、体験講座やイベント、カフェ・ショップでの食事や買物をお楽しみいただけます。(Tel.048-757-2981 / Fax.048-793-4074)

※イベント等の詳細は、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.nigiwai-koryukan.jp/>



■ 基本情報

【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで

【休館日】 月曜日(休日の場合は開館) / 年末年始(12月28日～1月4日) ※臨時に休館・開館することがあります。

【観覧料】 一般：300円(団体：200円) / 高校生・大学生・65歳以上：150円(団体：100円) / 小学生・中学生：100円(団体：50円)

※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。※団体は20名以上。※展覧会により観覧料が異なる場合があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館を制限したり、展示・イベント等を予告なく中止・変更する場合があります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

※掲載資料のうち、特に表記のないものはさいたま市岩槻人形博物館蔵です。



◎交通案内

【電車をご利用の場合】 東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分

※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。

【車をご利用の場合】 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分

※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。

IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS

Vol. 02

悠久の、ほほえみ。



加茂人形 大黒天、恵比寿(七福神のうち) 江戸時代

特集

にんぱくワークショップの紹介

Contents

にんぱくワークショップの紹介 / 常設展 close-up

学芸員の研究ノート第2回「西澤笛畝② 創作人形作家の誕生」

開館日カレンダー / これからの展覧会

〒339-0057
 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1
 Tel.048-749-0222 Fax.048-749-0225
<https://ningyo-muse.jp/>
 IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS Vol.02
 2021年9月発行 編集・発行：さいたま市岩槻人形博物館

※このリーフレットは20,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約17円です。



にんぱくワークショップの紹介

岩槻人形博物館では、展示に関連したイベントを開催しています。人形と人形に関わる文化を理解するきっかけになるような「みる」「しる」「つくる（体験する）」の企画を用意していますので、ぜひご参加ください！

にんラボシリーズ (小学3年生～中学生限定)

見て、触って、聞いて、時にはニオイをかいだり味わったり!? 五感を使って人形作りや人形に関する文化を学ぶ体験・実験型ワークショップ。

REPORT

「にんラボなかのヒミツ・桐粉編」
2020年11月14日(土)開催
伝統的な人形のなかみってなに？ できているのだから。桐塑ってなに？ 人形師(頭師)松口一栄氏をゲストティーチャーに迎え、桐塑頭の生地作りに挑戦しました。「初めて触る桐の粉と生麩糊はなんだか気持ちよかった。」と参加者の声も聞こえました。

つくろうシリーズ

人形や当館の所蔵品に関する様々なモチーフを取り入れた、いろいろなものを作るワークショップ。作りながら、楽しく鑑賞のポイントを学びます♪

REPORT

「つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウソドリ編～」
2020年12月6日(日)開催
学問の神・天神様は、子供の守り神ともされたため、人形や玩具のモチーフにもなっています。切ったり、貼ったり、丸めたり?! 天神様のお使い・ウソドリをモチーフとした、にんぱくオリジナルポチ袋を作りました。基本の 패턴 の後は、色紙を選んでカラフルに! 自分だけのウソドリポチ袋が完成!

令和3年度 下半期のワークショップ

1 おもちゃ絵を楽しむ

～佐々木一澄さんによるトーク＆ワークショップ～(特別展関連WS)
イラストレーターで郷土玩具収集家でもある佐々木さんの描いた、特別展に展示する世界の玩具をモチーフにしたシルクスクリーンを、トートバッグに刷って自分だけのバッグを作ってみよう。

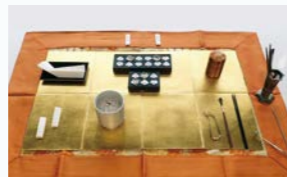
日 時：2021年11月6日(土) 午後2時～4時
講 師：佐々木一澄氏(イラストレーター)
参加費：1,000円 対 象：小学5年生以上
定 員：16名 締 切：2021年10月12日(火)



モチーフその1 パンプタオ

2 雑道具の世界 組香をやってみよう～源氏香～

日 時：2021年11月14日(日)
午前の部 10時～/午後の部 2時～
講 師：安藤綾冠氏(安藤家御家流家元)
参加費：1,500円 対 象：小学5年生以上
定 員：各回10名 締 切：2021年10月19日(火)



3 つくろう、犬篋 ～いぬばこの絵付け体験～

日 時：2021年11月23日(火・祝) 午後2時～4時
講 師：当館学芸員
参加費：500円 対 象：小学5年生以上
定 員：16名 締 切：2021年10月26日(火)



4 つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウソドリ編～

日 時：2021年12月11日(土) 午後2時～4時
講 師：当館学芸員
参加費：200円 対 象：小学5年生以上
定 員：16名 締 切：2021年11月9日(火)



5 つくろう、おひなさま

～ふじ雛の絵付け体験～(企画展関連WS)

日 時：2022年2月6日(日)
午前の部 10時～/午後の部 2時～
講 師：当館学芸員 参加費：400円
対 象：午前：小学3～6年生/午後：中学生以上
定 員：各回16名 締 切：2022年1月11日(火)



申込方法

1～5のイベントは事前申込が必要です。

往復はがきに ①参加希望イベント名、②参加者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、④電話番号を明記のうえ、当館までお送りください。

※小・中学生の場合は、⑤学年、⑥保護者氏名(ふりがな)もご記入ください。

※往復はがき1枚につき、2名1イベントずつ応募可能。

※締切日の消印有効。

※応募者多数の場合は抽選。複数応募は無効。

《申込先》
〒339-0057

埼玉県さいたま市岩槻区本町 6-1-1
さいたま市岩槻人形博物館 宛

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予告なく中止・変更する場合があります。ご了承ください。

大人の方も
Welcome!!
ぜひご参加
ください♪



担当学芸員 平井美江

常設展

Close-up

当館では、展示室1「埼玉の人形作り」、展示室2「コレクション展示 日本の人形」が常設展となっていますが、定期的に展示替えを行っています。ぜひ、何度でも足をお運びください。

特別展「西澤笛畝一人形をひのき舞台へ」(2021年10月9日～11月28日 展示室3) 会期中には、当館所蔵の西澤笛畝コレクションのなかから、笛畝によって選び抜かれた人形たちも常設展に登場します。特別展とあわせて、どうぞお楽しみください。

御所人形 立子 男女

江戸時代
展示室2
2021年10月5日(火)～11月28日(日)

西澤笛畝旧蔵、高さ60cmを超える大型の御所人形。立姿の優美な本作は、御所人形の名品として知られ、たびたび笛畝の著作にも登場しています。男女とも経年劣化による衣装の損傷が著しく、近年、オリジナルを元にレプリカを製作しました。男子の衣装には、趣向を凝らした遊び心が感じられます。



加茂人形 七福神

江戸時代
展示室2
展示中～2021年12月5日(日)

木地に彫った溝に裂地の端を挟み込む「木目込」の技法が使われた加茂人形。本作は七福神をモチーフとし、顔の皺まで細やかに彫られています。和気藹々と楽しそうな神様たち、生き生きとした表情に注目してご覧ください。



中国の玩具 布老虎

大正～昭和時代
展示室2
2021年12月7日(火)～2022年6月上旬(予定)

2022年の干支にちなみ、虎の玩具を展示します。中国において、虎は魔除けの力を持つ霊獣として敬愛されてきました。ぬいぐるみのトラを「布老虎」と呼び、かつては誕生した赤ん坊に贈られたといえます。ユーモラスな顔立ちと丸みを帯びたフォルムがキュート! 日本の虎の玩具とは違った味わいをお楽しみください。



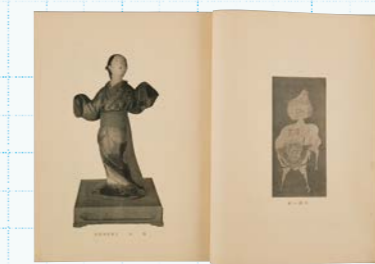
第2回 学芸員の研究ノート

にしざわ てきほ 西澤笛畝②一創作人形作家の誕生

第1回目に引き続き、秋の特別展のテーマである西澤笛畝(1889-1965)について紹介します。笛畝は生涯、日本画家と人形玩具研究家の二足の草鞋を履き、双方を巧みに連動させながら社会的地位を築いていきました。そこで培われた豊富な人脈を活用し、昭和初期の人形芸術運動をけん引していきます。人形芸術運動の背景には、日米親善人形交流による人形の可能性への期待、西洋人形や手芸の影響を受けたアマチュア作家の登場、近代の美術制度が整う過程で興った同時代の芸術運動の影響など様々な要因がありますが、まずは人形の作り手の「創作」に対する意識に変化が生まれなければなりません。そういった意味で、大きな役割を果たしたのが作家団体です。

日本初のプロの人形師による作家団体が、昭和3年(1928)に結成された「白澤会」です。後に有力な作家として展覧会で活躍する平田郷陽と岡本玉水が笛畝のもとを訪れ、作品発表や研鑽の場の必要性について相談したのが始まりでした。世話

人を買って出た笛畝はすぐさま他のメンバーを推薦し、最終的に技術に長けた人形師6名が集まりました。会員のひとり、久保佐四郎(1872-1944)は、西澤家二代にわたって親交のあった作家で、白澤会の長老的存在でした。江戸時代の嵯峨人形の技法を用いつつも、一層洗練された作風の「朧夜」は、白澤会による代表作『新日本人形集』の巻頭を飾った作品です。笛畝は他にも様々な作家団体の設立や監修に関わり、人形作家育成に貢献しました。(学芸員 菅原千華)



『新日本人形集』白澤会 昭和11年(1936)



朧夜 久保佐四郎作 昭和4年(1929)頃